

20周年にあたり



I, ZEN CO., LTD

代表取締役 元起 利彰

全国パラボラ工法協会のご発足 20 周年おめでとうございます。ご発足当時の並々ならぬご苦労とご継続へのご努力には尊敬の念に堪えません。当方が台北市の職員達に同行し、協会のご活動をご見学させていただいたのが約 6 年前です。それ以後も多岐にわたるご支援をいただきました。おかげさまで台湾でもパラボラ工法は広く認知されてまいりました。改めまして、皆様へのご感謝の気持ちでいっぱいです。

さて、台湾の現状ですがコロナへの影響も落ち着き、すこしずつ通常の生活が戻ってきております。日本との往来も再開され、多くの人達が待ちわびた様に行き来が急激に増えています。

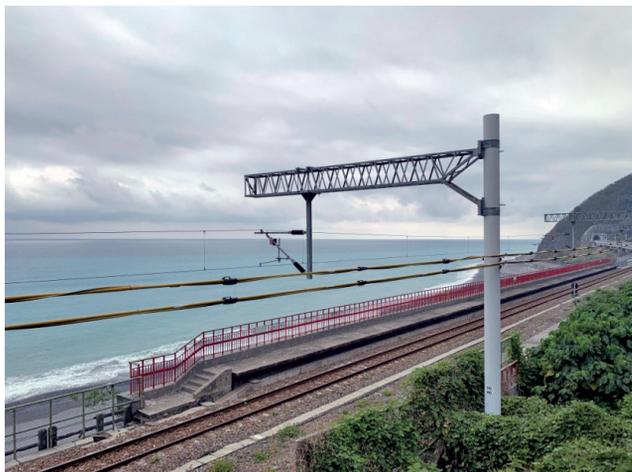
現在の台湾の気温は日本で言う初夏にあたります。地域によっては、35 度近くなる日もありますので、ご来台される方はお身体にはご十分にお気をつけ下さい。

とくにこれと言って目新し情報はないのですが、最近、台東での施工を行いましたので、その際の写真をご共有させていただきます。

台東は名前の通り台湾の東海岸に面し、与那国島からは南西に 267km のところにある都市です。温泉地としても有名で、エメラルドグリーンの海岸がひろがり新鮮な魚介類も豊富ですので、日本の方々にもお勧めできる観光地なのですが、台湾を約半周しなくてはならない交通の不便さから、日本の方はあまりお見かけしないのが実情です。

もし、ご機会がございましたら。

それでは皆様、くれぐれもご健康に、ご再会できる日を楽しみにしております。



20周年にあたり



全国パラボラ工法協会
本部事務局
事務局長 北村 靖治

会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は協会の運営にご賛同、ご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

当協会も今年度を持ちまして、設立20周年を迎える運びとなりました。これもひとえに会員皆様方のご支援とご厚情の賜物と心より感謝申し上げます。猛威を振るった新型コロナウイルスもwithコロナに移行して、ようやくマスクの着用をしなくても生活が出来る環境となって来ました。新型コロナの影響で、ここ数年協会運営も理事会がオンライン会議となり、総会、各種講習会も開催出来ない状況となってしまいました。会員の皆様には大変不自由な思いをさせてしまった事に心よりお詫び申し上げます。中止を余儀なくされていた通常総会も設立20周年の節目の年に三年ぶりに開催される運びとなり会員の皆様とお会いするを楽しみにしております。各種講習会も順次開催出来るように準備を進めているところです。

今後の展開については、世界情勢、経済情勢はまだまだ不透明で厳しい状況下ではありますが、我が国の下水道施設は、管路約47万km、処理場数約2,200箇所の施設ストックがあります。老朽化を放置すれば日常生活、社会経済活動に大きく影響することでしょう。ストックマネジメントの推進、導入が進み下水道事業が継続的、安定的に実施されていくのではないかと考えております。上水道、電力、通信事業につきましてもマンホール鉄蓋の老朽化による補修が叫ばれており同様に事業が実施されて行く事と思われまます。

当協会も20周年を迎え会員の皆様と共に次周年に向け邁進する所存でございます。今年度からは、開催出来なかった各種講習会、新工法の推進、技能コンテストの発表等技術向上と普及促進を図り、安心安全な街づくりに貢献する協会とするため会員各社様、協力企業様、各事務局におかれましては、全国パラボラ工法協会発展のため引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、坂本前本部事務局長の後任を受け約12年間微力ながら努めてまいりましたが、本部事務局の移転に伴い本部事務局長を退任し、今後は、神奈川事務局発足に伴い神奈川事務局長として工法の発展に努めて参りたいと思っております。

全国パラボラ工法協会 設立 20 周年にあたり



全国パラボラ工法協会
関東甲信越事務局
関戸 昌弘

全国パラボラ工法協会設立 20 周年を迎えられましたことに、心よりお祝い申し上げます。パラボラ工法協会が 20 周年を迎えられたのも、会長をはじめ会員の皆さま、協会に携わる方々のご尽力があったからだと思えます。

さて、先日の理事会において発表がありましたが、本部事務が神奈川県藤沢市から埼玉県久喜市の長島鋳物(株)営業部へ移転することにより、これからの協会活動を模索しているところではありますが、まずは現在も各地で行っております鉄蓋診断士講習を通じて、鉄蓋の機能、安全性能、交換の重要性を会員さまへお伝えし、各エリアにて取替需要を創出していただくよう働きかけをまいります。

次に展示会等を通してパラボラ工法を今よりも多くの方に知っていただき工事発注に結び付ける広報活動を行ってまいります。

今年度の大きな展示会の予定は 8 月に下水道展'23 札幌（札幌ドーム）、10 月に下水道管路管理技術施工展 2023 高知（高知ぢばさんセンター）となっております。

施工機材においては、最新機種である SPC-1200MZ は環境に配慮し国土交通省の低騒音型建設機械の指定を受けております。

建設機械の種類において低騒音と指定される騒音基準値 (dB) が異なりますが、コンクリートカッターの基準値は 106dB を下回ることでされており、その基準を満たした機械が対象となります。

新型パラボラカッター SPC-1200MZ
指定番号 :6765

また、昨年度の技能コンテストに応募いただきましたアイデアをもとにより良い施工方法の展開、ご提案機材が協会推奨のものとなるかを検討してまいります。

最後に、新会長、新副会長、会員皆さまのお力をお借りしながらパラボラ工法協会が益々発展できるよう活動してまいります。

書面評決による総会



令和4年6月24日を令和4年度通常総会開催として予約しておりましたが、新型コロナウイルスの蔓延が全く衰えを見せず、開催を断念し昨年に引き続き書面採決による表決会議とさせていただきました。今年こそは皆様とお会いできることを念じておりましたが残念です。一日も早く以前の平穏な生活に戻れることを祈ります。

令和4年5月末日必着で書面表決書をご提出いただきました。その結果について下記のとおりご報告申し上げます。

令和4年度 全国パラボラ工法協会、通常総会書面議決結果

書面表決書提出 182 通、総会員数 (217) で定数が充足し、以下のとおり議決が成立した。

議案

第1号議案	令和2年度事業報告	賛成 182	反対 0	無回答 35
第2号議案	令和2年度決算報告	賛成 182	反対 0	無回答 35
第3号議案	令和3年度事業計画(案)	賛成 182	反対 0	無回答 35
第4号議案	令和3年度予算(案)	賛成 182	反対 0	無回答 35

結果

第1号から第4号までの議案について、過半数の賛成をもって可決されました事をご報告します。多くの活動が制約される中、出来る限りの活動展開で業界誌を通じた広告、各種展示会、パラボラ工法の説明会、会報の発行、会報の自治体への発送等々を含めまして、さらに工法が普及出来るよう努力致します。今後とも一丸となってパラボラ工法の普及に皆様と共に努めてまいります。

理事会・令和4年7月8日



●議案

第一号議案 令和4年度の事業計画について再確認

令和4年度事業計画についてはパラボラ工法の技能コンテストの開催中ではありますが、それ以外に鉄蓋診断士の講習会の開催予定が数箇所で見込まれています。それ以外の事業計画について御意見を求めました。

第二号議案 来年度の総会・技能コンテストについて

技能コンテストの応募案件が7件ほどいただきました。申請書のフォーマットが会員様へ行き届いていない為、フォーマット待ちの会員様も数社おられます。(先般、会員の皆様にお送りした会報の中でもフォーマットをお知らせしています)

第三号議案 来年度の予定

来年は協会の設立20周年に当たります。来年6月16日(金)に新横浜グレイスホテルの仮予約を致しました。20周年記念行事について討議

・会報、特集号 ・技能コンテスト発表会 ・20周年記念品・表彰

第四号議案 新潟県支部と新潟県上越支部について

新潟県上越市に置いて5社の会員が入会され新潟県上越支部の設立を希望されていますが、県単位以外の支部の設立について討議

第五号議案 来年度の事業計画について

来年度は20周年記念の行事と共にコロナ禍から平常に戻れるような運営が必要と思われませんが御意見を求めました。

第六号議案 各地区に於いて会員の募集および営業会員、賛助会員の募集について

全国パラボラ工法協会の正会員数が221社となりました。正会員の増員が無理な地区もあり、また、増員を行わなければならない地区もあります。営業会員、賛助会員の募集について事務局の意見を求めました。

□報告

1、下水道機構の更新について

これまでは下水道機構側と数回の打合せを行い、表層材パッチグーPを開発目標に入れることになりました。それに沿った各種資料を作成しプレゼンテーションの予行を行い6月9日には役員様の前でプレゼンテーションを行い審査を無事通過致しました。この後、材料検査のため埼玉県草加市の建材試験センターにて9月9日、立ち合い試験を行う予定であります。最終的には年内に正式に承認される予定となっております。

2、書面総会の結果について

令和4年度の通常総会も3年連続して書面表決となりました。議案書と葉書を郵送し書面表決の結果は正会員220名のうち返信いただきました174社は全員賛成をいただきました。また、返信いただかなかった会員様は47社であり、会則第15条4項の規定により過半数の承認が得られました事をご報告いたします。

3、会員パス、IDについて

正会員様のID、パスワードを変更させていただきました。また、正会員様以外のコンサルタント会員様へもID、パスワードをお送りしました。

4、令和3年度施工実績の集計結果

令和3年度の施工実績を集計致しましたところ、昨年より少ない4,754基の実績をいただきました。ネオフィットモルタルの出荷総数は増えているのですが総ての会員様からの御報告をいただけていないのが残念です。

理事会・令和4年12月9日



● 議案

第一号議案 令和5年度事業計画について

通常総会開催について

令和5年6月16日、新横浜グレイスホテルを予定

下水道展、札幌2023

令和5年8月1日～4日 北海道札幌ドーム

下水道管更生技術施工展

令和5年、高知県高知市を予定

会報第18号の発刊

令和5年6月に発刊予定

技能コンテスト

令和5年6月に入賞作品を発表予定

公益財団法人日本下水道新技術機構

認定式を3月に予定

鉄蓋診断士講習会の開催を各地で予定

事業計画について討議。

第二号議案 協会発足20周年記念事業について（通常総会後を予定）

会報、特集号

寄稿の依頼

表彰 表彰対象者は記念品贈呈

記念品の選定

記念式典について 概要と進行について討議。

第三号議案 パッチグーPの名称変更について

第四号議案 技能コンテストについて

今年度に入り開催中であります技能コンテストへの応募の件ですが、いまだに応募が少なく成立が危ぶまれ始めました。このコンテストの応募には全国事務局員様からの力添えが無ければ成立せず、この理事会に際して事務局員様のお力を発揮していただくよう協力依頼。

第五号議案 長島鋳物(株)様の広島営業所には、これまで中国四国事務局を担ってきていただきましたが、営業所が閉鎖された為に中国四国事務局もなくなりました。新たに

関西事務局が → 西日本第一事務局に変更になりました。

九州事務局が → 西日本第二事務局に変更になりました。

第六号議案 九州事務局管内に於いて当協会の営業会員が他工法の協会から切断機を購入して活動を始めた事が判明しました。協会会則に照らし、理事様の御意見をいただき処置について討議。

1、下水道機構の報告書更新について

公益財団法人日本下水道新技術機構の更新に際して、新たに追加された表層材パッチグーPの建材試験センターでの試験も無事終了し、報告書を完成させている最中です。交付式は3月頃の予定です。

2、下水道管更生技術施工展・長崎について

令和4年10月20日に九州長崎県大村市において開催されました。全国パラボラ工法協会のブースには観客250名ほどが来場されました。新しい低騒音型カッター、内径切断機の展示、パネル展示を行い大きなアピールが出来ました。

理事会・令和5年3月24日



●議案

第1号議案 令和5年度の事業計画について

通常総会開催について

下水道展札幌 2023

下水道管更生技術施工展

会報第18号の発刊

技能コンテスト

公益財団日本下水道新技術機構 認定式

鉄蓋診断士講習会

令和5年6月16日(金) 新横浜グレイスホテル

令和5年8月1日～4日 北海道札幌ドーム

令和5年10月19日 高知県高知市

令和5年6月に発刊(20周年記念号)

令和5年6月に入賞作品を発表

令和5年3月

理事の皆様のご承認をいただきました。

第2号議案 本部事務局の移転

現在、本部事務局をセーブマシン(株)内に置き業務を行っています。

しかしながら、膨大な業務量となったため、令和5年6月の定時総会を持ちまして長島鋳物(株)久喜事業所内に本部事務局を移転する事にいたしました。

(本部事務局の移転については会則を改訂させていただく事になります)

また、セーブマシン(株)内には本部事務局に代わり神奈川事務局を置くことにいたします。

これにより本部事務局長も北村氏は退任し新たに関戸氏が就任する予定となります。

理事の皆様のご承認をお願いいたします。

第3号議案 現会長の退任と新会長の選任について

現会長・見玉利治様から令和5年度定時総会をもって会長退任の申し出を頂いております。

第4号議案 20周年記念事業について

今年度開催予定の通常総会において20周年記念となる各種事業計画を行う為、再度内容について御確認および御協議いただきたいと思います。

1. 20周年記念会報、第18号の発刊
2. 会報に掲載の寄稿を執筆依頼
3. 表彰式と表彰対象者
4. 20周年記念品
 - 1) クリスタルの彫刻
彫刻本体の単価

第5号議案 退会会社への対応

退会されながら施工を行う会社について商標等の無断使用に対して会則で有効な手だてがあれば表記し、権利者のセーブマシン社から対応について準備中ですが専属弁護士の判断が間に合えば発表予定です。

第6号議案 会員資料の配布

新年度に正会員様へ配布する各種資料を、ここ数年はホームページからダウンロードしていただいておりますが、今年度はUSBメモリーに総てのデータを収めて配布させていただく予定です。

第7号議案 技能コンテストの応募作品の審査について

応募締切 4月末日に最終締め切りと致します。現段階での応募は26件

選考 理事様、全国事務局様にポイント制にして選考する。

ポイント制 審査のシステムを決定

令和4年 東京都支部役員会

令和4年4月22日
東京都北区にて開催
関東事務局 吉野 功也

参加者：支部会員5、関東事務局2 合計7名の参加となりました。



東京都のコロナウィルス感染も収束に向かっていると思われるなか、半年ぶりに東京都支部役員会が開催されました。

今回の役員会では、主に令和4年度東京都支部定時総会の議案書の内容について話し合いが行われました。

特にコロナの影響で遡ること約2年間は東京都支部会員の意見交換が円滑に行われなかったため、令和4年度からはコロナウィルスの感染状況を考慮しながら、会合等を開催し会員同士の交流を深めていきたいとの考えで東京都支部役員一同の意見が一致いたしました。

また、約10年間東京都支部長として務めていただいた藤田支部長に代わり新支部長選任の話となり、役員会後に東京都支部役員内で再度話し合い新支部長を決定する予定となりました。

最後に東京都支部として、会合等の行事を再開し会員同士の絆をより深める場を設けることで全国パラボラ工法協会の発展につながることを期待し役員会を無事終えました。



令和4年 東京都支部役員会

令和4年6月1日
東京都中央区にて開催
関東事務局 吉野 功也

参加者：支部会員5名、関東・甲信越事務局2名 合計7名の参加となりました。

前回4月22日に役員会を開催しましたが、一か月と少しの間を空けて東京都支部役員会を開催しました。

今回の役員会では、約10年間、東京都支部支部長を務めていただいた徳丸管工株式会社藤田社長に代わり新支部長として 佐々木総業株式会社 小林光一社長に就いていただくこととなり、小林社長の代理で出席した田邑部長より挨拶と今後の東京都支部の抱負についてご説明がありました。

また、東京23区から2名、多摩地区から2名、合計4名の副支部長の任命も行われ、東京都支部として繋がり深い体制が確立されました。

今年度はコロナウィルス感染対策で東京都支部の会合等が控えられておりましたが、会合などのイベントを通して、東京都支部会員同士の懇親及び情報交換の場を設けていきたいとの考えで役員一同意見が一致し役員会を無事終えました。



下水道管更生技術施工展 2022 長崎

下水道管更生技術施工展 2022 長崎開催報告

開催日時：令和4年10月20日（木）

開催場所：長崎県大村市 BORT RACE 大村駐車場

主催：公益社団法人日本下水道管路管理業協会

参加団体：42社・団体

REPORT

関東甲信越事務局 関戸 昌弘

下水道管更生技術 施工展 第21回 2022長崎

令和4年10月20日、長崎県大村市 BORT RACE 大村駐車場において、下水道管更生技術施工展 2022 長崎が開催されました。

九州での施工展は11年ぶり3回目の開催となり、出展社数も42団体という近年にはない多くの団体が出展。天候にも恵まれ、総来場者数は1,522名と大変多くの方に来場していただきました。

当ブースでは、開催地である大村市のカラーマンホール蓋と長崎市カラーマンホール蓋の展示を初め、マンホール蓋の変遷表とともに、旧型から新型のマンホール蓋、次世代型マンホール蓋、国土交通省認定の低騒音型建設機械パラボラカッター SPC-1200MZ を展示いたしました。

また、鉄蓋からの直接侵入水実演を見ていただき、対策の重要性について説明することができました。

